

12		現在我觉得他好像还没有讲，没有听见。	今はまだ言っていないと思います。聞き取れませんでした。		
13	したがって、ま、文学を学ぶとはですね。うちろん文学を学問の対象として研究することってこともありますが、それ以前にですね。なによりも作品の声に耳を傾ける、それを学ぶということだと思います。	聴文学作品現在是在作为一种学问在研究的但是在更早以前，文学作品是作为一种用耳朵倾听的一种方式去学习的。	うーん、文学作品は今も学問として研究されているんですけど、その前は、文学作品は耳を傾けるという方式で勉強してきました。		
14	では、作品の声を聞く、その作品を聞くということですね。一体、ま、どのような、ことなのか、そこにどのような、こう意味が見いだせるのか、それをより実際的で、より現実的な3つの観点から考えていきたいと思っています。	就是怎样用，怎样去倾听文学作品的声音，然后他要介绍三个方式去，这样，额就当，倾听的学。	つまり、どのように、文学作品に対してどのように聞けばいいのかについて、3つの方法を紹介する、このように、えーっと、聞く方式としてです。		
15	え、まず、1つ目として挙げられるのが、文学は他者への共感を可能にする有効な手段であるということです。アメリカの作家、ポール・オースターは、君に物語を語りたいたいという文章の中で、作りたい、創造したい、発明したいという欲求は、	額他说，就是文学作品是，额作为一种跟他他人产生共情的手段。然后一个美国的作家谁谁谁，嗯，这个名字，我不知道，就是他在写的一本书叫，一本什么书，忘记了，说，说是，嗯，额，想写你的故事里面，要求有创造性，额，他写了三个个性但是三个具体什么我已经忘了。	えーっと彼はこのように言いました。文学作品は、えーっと、他者との共感を生み出す1つの手段です。そして、アメリカの作家の誰かが、うーん、この名前は、聞いたことがないのですが、つまり、この人はある、ある本の中で、本の名前は忘れましたが、えーっと、うーん、君の物語を語りたいたいというの中で、創造性が求められています。えーっと、3つの性質について話しましたが、具体的な内容は忘れちゃった。		
16	間違いない、人間の根源的欲求であると書いています。どうやらですね、こう、しゃべることを覚える以前から、人間は物語の欲求につきこかされているようなんですね。	額、先は前紧接着上面一句、这三个性就是，就是，是，人的一个基本的需求，然后就是人在，嗯，人说话之前，就对于故事有的，有这样额，就是用故事，故事来传达的，就是传，传达的。	えーっと、前の文の続きなんですけれども、この3つの性質は、えーっと、人間の基本的な需要です。そして、人は、うーん、人は話す前に、物語に、えーっと、物語を用いて、物語を用いて言いたいことを伝えます。		
17	あの一、子供を見て、いるとですね、子供放っておいたらなにしますか、放っておいたら、子供は必ず遊びますね。身の回りにあるものを使って遊びます。そして、子供の遊びを見ていると気づくことがあります。	就是如果让孩子，把孩子让，孩子一个人呆着的话，他会干什么呢，他就会去玩，然后他就会是和周边的东西，就是或者说玩周边的东西，然后看这个孩子。	つまり、子供を、子供を放っておいたら、彼はどんなことをするのか、彼は遊びます。そして、彼は周りのものと遊びます。あるいは周りのものを使って遊びます。そして、この子供を見ます。		
18	多くの場合、子供の遊びというのはですね、こう、ま、ごっこ遊びというのでしょうか、自分とは違う者になる、ということが、中心にある遊びだと思うんですね。	然后孩子小孩的玩法是一种叫做「ゴッコアソビ」[日本語で発話する]。这个是应该是不知该怎么翻译成中文，但是我这里解释的是，把自己想象成其他人或者物，的一种玩法。	子供の遊びは「ゴッコアソビ」という遊びかたなんですけれども、中国語にどのように翻訳するのがわからないです。しかし、ここで彼はこのように解釈しました。自分を他者あるいはほかのものを想像するというような遊びかたです。		
19	子供の遊びの中では、あらゆるものが変身する。ぬいぐるみなどのおもちゃや、棒きれなど、無生物がですね、生き物になってしゃべります。	然后他就是具体的举例了刚刚那种，「ア」[日本語で発話する]。就是「ゴッコアソビ」[日本語で発話する]」の玩法。就是会扮演，嗯，「ぬいぐるみ」[日本語で発話する]就是玩偶，之类的东西。然后把无，让无无生物，嗯，就是让无生物讲话一样的方式去玩。	そして、彼は具体的な例を挙げました。「ア」えーっと「ゴッコアソビ」の遊びかたについて。つまり、演じる。うーん「ぬいぐるみ」ぬいぐるみのようなものを演じます。そして、無生物を、うーん、無生物をしゃべりさせるというような遊びかたです。		
20	あるいはここが、ここではありながら、ここではない場所になります。押入れが謎の洞窟になったり、あるいはこう、公園のブランコが船になったりですね。	額、这里又说了，嗯，说，他，公，公，公園里的「ブレンゴ」は[日本語で発話する]」は何、没有听懂。	えーっと、ここは、うーん、あれ、彼は、公、公、公園の中の「ブレンゴ」は「なんとかが、よくわかりません。		
21	幕はらがジャングルになったり、違う場所が生まれます。また子供自身も、まったく自分とは違う者になります。その、ままごと、ごっこ遊びの本質であるままごとを見ればわかると思うんですけども、小さな子供がお母さんになったり、こうパプーという赤ちゃんになったりですね。	嗯，根据这句话我理解一下前面的意思应该是，嗯在公园里，或者一些其他的東西把公、額就是其他的物体想象成，就是公园里一些物体想象成其他的東西，然后这里讲的是把自己想象成其他人，比如说，过家家，就是玩就是家庭的，作为一个妈妈爸爸这样的，嗯角色扮演。	うーん、この文から推測すると前の文の意味はおそらく、うーん公園の中で、あるいはほかのものを、えーっとほかのものに想像している。つまり、公園の中のものをほかのものにたとえています。そして、ここで話したのは自分が他人になる想像をしています。たとえば、ままごと、つまり、お母さんやお父さんになるというような遊びかた。うーんロールプレイです。		
22				ごっこ遊び、と今言っている、ままごと、は同じですか。	
23		嗯，比较像，但不是完全地一种，就是，嗯，一种是自己把自己想象成，额，某个东西，然后可以是生物也可以是非生物，但是后者就是更需要像那种需要比如说，嗯「ママゴ」[日本語で発話する]的话就是不可能只有一个人演妈妈还需要其他的人人一起进行这种扮演。感觉。	うーん、似ているけど、同じものではないです。つまり、うーん、前者は自分があるものにとえる、有生物でも無生物でもありえます。後者はたとえば、うーん「ママゴ」の場合はひとりだけがお母さんになるというわけではなく、ほかの人と一緒にいる必要があります。これは私の推測です。		

24	学校の先生になったり、お医者さんになったりする、あるいはその、変身もののアニメや、こう、あの一、テレビ番組があるようにですね、ヒーローになったり、あるいはこう、プリンセスになったりする、ということが起こる。つまりですね、子供は、ま、自分とは異なる他者を、ですね、こう、自分と同じような存在として扱い、同時に自分も他者になる。ま、それが、子供の遊びだと言えるんですね。	嗯到这里为止就是，额，依旧是全都是还在讲「子供の遊び」[日本語で発話する]」然后他这里，嗯举例了，应该是日本比较出名的一种那种应该是英雄之类的角色吧，但是没有，但是我没有听懂。然后前面还，额，紧接着上面列列列举了扮演医生之类的角色扮演。	ここまでは全部、えーつと、前と同じように「子供の遊び」の話でした。そして、彼はここで、うーん例を挙げました。おそらく日本で有名なヒーローなどの役ですが、よくわかりませんでした。そして、その前に、えーつと、先ほど挙げた例の続きとして医者例も挙げました。	
25	子供たちは想像力をそうやってこう繰りひろげることによって、現実にはありながらも、現実とは違う位相にある世界を、ま、作りだしている。それが、物語、の原型だと思うんですね。	嗯他这里讲就是孩，就是孩子们通过这种玩方式，就是在一个是现实世界，又又创造了一个非现实的世界，嗯，然后，这就是通过这样他们能够发，发展他们的想象力，然后这个就是就是，额，「モノガタリ」[日本語で発話する]」的一种，嗯，作用的界限。	うーん子供はこのような遊びかたを通して、現実世界の中に、非現実の世界を作りだします。うーん、そして、このようなことは彼らの想像力を伸ばすことができます。そして、これは、えーつと、「モノガタリ」の、うーん、限界の1つです。	
26				じゃどうして今、限界だと考えたんですか。
27		「先は限界みたいな言葉は出てきて」[日本語で発話する]」嗯就是刚刚好像出现了「限界」[日本語で発話する]」这个词但是我不确定是不是，可能是我理解错了。	「先は限界みたいな言葉は出てきて」うーん「限界」という言葉を聞いたような気がします。しかし、確実ではないので、間違えるかもしれません。	
28	その物語は他者の物語であると同時に自己の物語でもある、と言えます。	就是这个「物語」[日本語で発話する]」故事，是，就是又有，他，又是有人他的故事，也有自我的故事。	この「物語」ストーリーというのは、えーつと、他、他人のストーリーもあるし、自分のストーリーもあります。	
29	さて、その共感、他者への共感っていうことをですね、考えるとき、文学っていうのが、どうしてこう、有効な、それを共感するために有効な手段だと言えるのか。	嗯为什么说文学作品是一种和他人共情共感的一种有效的方式呢。	うーんどうして文学作品は他者への共感を作る1つの有効な方式と言えるのか。	
30	それはですね、こう、文学作品、小説ほど、他者の内面というのを明らかにしてくれ、ま、手段っていうのはほかにないからですね。たとえばですね、絶対に、その他者がなにを考えているか、こう頭の中はこう見えないわけです。	就是说为什么文学作品能够产生跟他们就是额产生共情呢，一般来说，就是额，别别人在那脑海里想想什么我们是看不见的。	つまり、どうして文学作品は他人への共感を作ることができるかという、一般的には、つまり、えーつと、他人の頭の中でのなにを考えているのか普段は見えないからです。	
31	しかしですね、小説、においてはですね、登場人物の頭の中を、あるいは思考や感情をですね、読者が見ることができる。	小说里然后小说里的登场人物的想法感情，嗯就是，通过文字，读者都是能够看见的。	小説の中ではそして、小説の中の登場人物の考えや感情を、うーんつまり、文字を通して、読者は見ることができます。	
32	彼はなにになと思った、彼女はなにになと願った、などのですね、こう言語形式によって、登場人物の内面が透明になる。	就是额，就是这个男的他在想什么什么想什么，然后女的她就是有什么什么什么的愿望。然后这些登场人物，额通过文字他们的内面就，额，就被透明化了。	つまり、えーつと、彼はなにを考えているのか、そして、彼女はなにを願っているのか。そして、これらの登場人物は、えーつと文字を通して彼らの内面は、えーつと、透明化されます。	
33	それはね、三人称の小説に限らず、こう、私や僕、で語られる小説であっても、ま、その語り手は、読者である私たちにとっては、ま、現実生活においては、その、内面は、ま、絶対にアクセスすることのできない他者であるわけです。しかしですね、読んでるうちに、読者は、こう自分とは異なる、その私とか僕っていう語り手の、語り手の、内面に、こう、同化していく。	嗯一开始，一开始讲的时候没有听明白，后面就是说，就是依旧说了在现实生活中，读者和我的内心是，嗯，是没有办法就是直接沟通的，但是在小说里，就是这种方法，就是读者和我，是，就是，的内面内心是能沟通的。嗯不是小说里的人物，而是就是现实生活中的人和人，或者现实生活中的读者和写手。	うーん最初、最初の話はよくわかりませんでした。そのあとは、現実生活の中では、読者と私の心の中では、うーん、直接コミュニケーションを取ることができないんですが、小説の中では、このような方法で、読者と私は、つまり、心のコミュニケーションはできるということです。うーん、小説の中の人物ではなく、現実生活の中の人と人、あるいは現実生活の中の読者と作家です。	
34	そうやって小説を読むことによって、ま、他者の内面をのぞきみると同時に、それを、他者が自分と同じような欲望や苦悩や矛盾を抱えた、あるいは、複雑な、おきゅ、おきゅ、奥行きを持った、ま、人間。	啊这里说的是就是通，额通过看小说然后我们就是看到，嗯登场人物的内面，他们也像我们一样有额矛盾，欲望，种种的人类的感情。	あつここで言ったのは、えーつと小説を通して我々は、うーん登場人物の内面を見ることができるといことです。彼らも私たちと同じように、えーつと矛盾や欲望や、さまざまな人間の感情を持っています。	
35	であるってことをね、発見する、ということにあります。文学を学ぶことの意義として、2つ目に挙げたいのは、文学は世界への窓だ、ということです。	嗯第二个他指出了，额他要想讲的第二点是，那个，文学是世界之窗。	うーん、2つ目、えーつと言いたいことの2つ目は、あの一、文学は世界の窓だということです。	
36	ま、誰もが感じているように、文学は世界について知るための有効な手段です。	嗯，就是，文学は、去了解这个世界的一种有效手段。	うーん、つまり、文学は、世界を知るための有効な手段の1つです。	

50	誰が言った言葉だか、みなさんご存知ですか、フランスの作家のブルーストの言葉です。このブルーストの言葉にあるように、ま、近代以降の文学において、個々の作家はですね、こう、母語をいわば、外国語のように書くことによって、こう独自の文学言語を確立しようとしてきました。	嗯我这里、「フフ[日本語で発話する]」一个、嗯法国的作家、布鲁斯，嗯，强调了，前面那句话前面那句话我忘了。额就是，他说，额母语又或者说外语的作品，它会，就是，提高，还是在提说提高感度的事。	うーん彼はここで、「フフ」ある。うーんフランスのある作家、ブルースという人は、あることを強調していました。前半の文は忘れちゃった。えーつとつまり、彼は、えーつと母語もしくは外国語の作品の、えーつと、感度を高めることについて話しています。		
51	それで、外国語っていう、ま、言葉ができませんでしたけども、世界文学を学ぶということ、外国語を学び、知ることはですね、僕はこう深い関係があると思うんですね。	嗯，他说，额，嗯，外国文学学习的时候，就是嗯，对于，嗯外语学得，然后和母语母语之间有很深的关系。	うーん、彼は、えーつと、うーん、外国語文学を学ぶときには、つまり、うーん外国語習得は、そして、母語との間に深い関係があります。		
52	たとえば外国語を学ぶことにはですね、他者の文化や社会を知る、ま、その、最初の入り口であるという有用性だけではなくて、	額他说，外语学习的时候，嗯，他说它的社会文化，额，不是最开始的，那个，入口。	えーつと彼は、外国語学習のときには、うーん、その国の社会文化は、えーつと、最初の、あの一、入り口、ではありません。		
53	その有用性だけではなく、ま、異なる語の響きや異なる言葉のこう、つくり、形に、ま、触れる喜びがあると思うんですね。	額、嗯就是他就是、「コトバノコ」[日本語で呟いている]額就是音韵的话，额就是通过言就这种言语交谈，是额，是就是就是外语，学习外语语能使我们觉得很开心。	えーつと、うーん彼は、「コトバノコ」えーつとつまり、言語は、えーつと言語を通してコミュニケーションすることは、えーつと、外国語、外国語を学ぶことで私たちが楽しくなるということです。		
54	で、翻って文学を考えると、たとえば詩を読んでも、詩を読むときに、こう私たちは、あの、言葉が伝達する意味だけではなくて、ま、それぞれの言葉が持つ響きだとか、これ、リズムだとか、あるいはこう、抑揚とか、言葉の配列とかですね。	然后我们在读外国文学作品的时候，就是不仅仅是，嗯，就是口头的语言，但是，更是一种文字的回响旋律。	そして、私たちは外国の文学作品を読むときには、うーん、ただの話言葉ではなくて、ある種の文字の響きとメロディでもあります。		
55	そうしたものに、こう注意を傾けますね。で、よく考えると、これは、こう、外国語を学ぶときの、まあ、経験にこう非常に近い、言葉そのものへ、こう、意識を向ける、という点ではですね。	然后这些点就是跟外看外国文学的时候，有很像，就是要专，就是要把注意力放到这些点里去。	そして、このようなことは外国語文学を読むときと、似ています。つまり、入りこむことです。		
56				じゃ、なにと外国文学が似ていると言ってるんですか。	
57		「うーん、たぶん、うーん[日本語で発話する]」外语学习的时候，应该是外语学习的时候，注意注意額、注意它的「アク、メロ[日本語で発話する]」就是、嗯旋律。「リズムと[日本語で発話する]」嗯那个声音那个、回响。然后和、就是看文文学作品的时候，这二点是相似的。	「うーん、たぶん、うーん」外国語を学ぶとき、おそらく外国語を学ぶとき、えーつと、「アク、メロ」を注意する。つまり、うーんリズム、「リズム」と「うーん、声の響きを注意すること、そして、この点については文学作品を読むときと似ています。		
58	あの文学を学ぶこと、外国語を学ぶことにはですね、深い親近性があります。だからですね、僕は、あの外国語をね、より、学べば学ぶほど、よい文学の読者になると思うんです。	然后他这里说了是，嗯外语学习和、嗯那个阅读外国文学作品有着很深的关系，嗯也就是说，嗯，这里「シン、シンゲーサー[日本語で発話する]」这个词我没有理解是什么意思。然后但是他后面说的是，额就是，外语学更好就，就能更好地理解外国那个文学作品。	そして、彼はここでこのように言いました。うーん外国語学習と、うーん外国の文学作品を読むことの間には深い関係があります。うーんつまり、うーん、この「シン、シンゲーサー」という言葉はよくわかりませんが、そして、そのあと彼はこのように言いました。えーつとつまり、外国語が上手なら上手なほど、外国の文学作品をうまく理解することができます。		
59	で、放送大学には、あのほんとにこう、さまざまな外国語の授業が、あの用意されていますので、みなさんぜひですね、あのいろいろな外国語に触れてもらいたい、こう、ぜひ学んでもらいたいと思います。	放送大学里面有就是准备了很多外教外语的一些课程，希望大家能够多和这些外语接触，多学习这些外语。	放送大学ではさまざまな外国語を教えるコースがありますので、みなさまがぜひたくさん外国語と接触して、これらの外国語を勉強してください。		
60	[以下略]	[以下略]	[以下略]	[以下略]	[以下略]